# 【取組内容①】子どもたちの主体的な活動を目指した授業改善

## 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

### 【共通実践】

- 1 教師主導の時間を短くし、児童の活動の時間を長く設定する
- (1)目指す児童像を作成・共有
- (2)授業スタイルの共通実践

<一斉>

(3)自己選択・自己決定の場を増やす

#### 「自律した学習者」 ①自ら課題を把握・見出し、(自分なりに)課題解決の見通しを持つことができる。(持つ力) ②学習の仕方(進め方)を選択・決定しながら、自分の学習を調整して学びを進めることができる。(進める力) ③学習の結果や成果を自己評価して、次の学びへつなげることができる(自己評価するカ)(つなぐカ) <学習過程で目指す児童の姿> ・課題がわかり、課題に向き合うことができる。(低) ①めあて・課題設定、見通し ・課題がわかり、学習を見通して、計画することができる。(中) ・自ら課題を設定し、学習を見通しを持って計画することができる。(高) 律し ・学びの流れが分かり、自分の考えを持ち、学習(課題解決)することができる。(低) ・学びの流れが分かり、学習の進め方を選択・決定し、友達と課題解決ができる。(中) た学習 ②選択、決定、課題解決 ・学びの流れが分かり、学習の進め方を選択・決定し、友達と比較・検討しながら、よりよい\_方法で課題解決ができる。(高) ・学習の成果を振り返ることができる。(低) ③まとめ・ふりかえり・評価 ・学習の成果や学びの方法を振り返り、次時へつなげることができる。(中) ・学習の成果や学びの方法を振り返り、学び方を自己調整していくことができる。(高) <登小が目指す授業デザイン = 登小スタイル> 自己選択 まとめ めあて 比較 個別最適な学び 自己決定 ふりかえり 課題設定 協働的な学び 複線型 見通し 評価 見方・考え方

<個別最適・協働的な学びの一体(融合)>

<一吝>

# 授業の様子





「個別最適な学びと協働的な学びの一体化」

左:担任配布の資料で学習を進めることを選択して問題解決へ右:2人で情報収集したことを話し合いながら問題解決へ

### 〈児童の変容:学習者視点〉

どのように学ぶか、誰と学ぶかなど、自己選択・自己決定しながら学習を進める姿が見られるようになった。 自分なりに学習を進め、友達と交流しながら問題解

決することが増えた。

## <教師の変容:授業改善>

Classroomで学習の見通しを持たせ、教科書や資料集、具体物や端末(動画・その他資料)などを活用して、自分たちで学習を進められるような授業づくりを意識することで、子どもたちの主体的な活動につながった。また、目指す児童像を共有したことで、児童の活動を意識した授業づくりをすることができた。